

●ジェネリック医薬品(後発医薬品)を使いましょう

【どうしてジェネリック医薬品が話題になっているのでしょうか】

近年、医療費の増加傾向が続いていますが、医療費の約3割は薬剤費となっています。そこで、お医者さんから処方される薬をジェネリック医薬品に変えることで、患者負担の軽減となると同時に医療保険からの支出も軽減されることになり、医療保険財政の改善につながるため、国でも積極的なジェネリック医薬品の使用促進を進めています。



【なぜジェネリック医薬品は安いのでしょうか】

費用が安いと品質が劣るのではと心配になりがちですが、そうではなく、ジェネリック医薬品は研究開発費用が安く抑えられるために、先発医薬品に比べて薬価が低くなっています。具体的には、新薬の開発には約9～17年かかり、費用も約300億円以上かかるのに対し、ジェネリック医薬品の開発には約3～5年、費用は約1億円に抑えられています。

また、ジェネリック医薬品は先発医薬品の使用経験により、有効性や安全性に関する評価がすでにある程度確立しているため販売管理費も少なく済みます。こうした理由により、低価格で販売されているのです。

【ジェネリック医薬品を使うには】

ジェネリック医薬品に興味を持ったら、まずお医者さんに相談してみてください。ジェネリック医薬品に変更できる処方せんをもらったら、薬局でどのようなジェネリック医薬品に変更できるのかを薬剤師さんにご相談ください。

一定期間ジェネリック医薬品を試してみたら変更するかどうかを決めることもできます。治療内容によってはジェネリック医薬品が適さない場合もあります。



【医療費の増加抑制はあなた次第！】

香川県では、全国と同様に、ジェネリックの使用頻度は高まり、7割ちかくの方が使用しています。

しかし、県内の子育て医療の対象となる若年層の使用割合は低い水準となっています。また、医療費助成のサービスでもある、子育て支援医療、ひとり親医療、重度心身障害者医療の3つの福祉医療サービスの利用額も増加しており、健康保険や町の財政負担が大きくなっています。ジェネリック医薬品の使用は、医療費の節約につながり、健康保険や町の財政の支えとなります。

ジェネリック医薬品の使用に、皆さん一人ひとりのご協力をお願いします。

